

# 市政を問う 一般質問

**不登校児童・生徒**  
都市計画区域と市街化調整区域



林恒徳  
(市民クラブ)

**質問** 不登校の課題解決に向けた新年度の取り組みは。

**答弁** スクールソーシャルワーカーが抱える事案が増えていることから、令和6年度からは1人増員し、きめ細かな支援を行う。また新たに本市独自でスクールカウンセラーを1人採用し、不登校児童・生徒やその保護者からの相談に迅速に対応することで、心理面での支援も充実させる。

**質問** 持続可能な社会のためには開発しやすい環境整備が重要だが、本市の考えは。

**答弁** 線引きされた都市計画区域内において、開発のために市街化区域に編入することは、**スプロール化**しないよう配慮が必要である。近年では、産業団地の開発を行ったほか、堤ヶ岡飛行場跡地の開発に向けた農林調整を進めている。今後も開発需要の高まりやインフラの整備状況を踏まえ、適切な開発を行いたい。

**公共・民間の分煙拡大に向けたばねの活用**  
美容師無免許者、無届事業者に対する対応



角倉邦良  
(無所属)

**質問** 年間20億円超のたばこ税収入の1%を、公共施設や民間施設のさらなる分煙拡大のために活用できないか。

**答弁** 公共施設では既に禁煙や分煙を実施しており、民間施設については事業者が主体で判断するものと考えている。また、たばこ税は使途の制限なく活用できる一般財源であり、これを活用して分煙を推進することについては慎重な対応が必要だと考えている。

**質問** 美容師無免許者や無届け事業者に対する保健所の対応は。

**答弁** 無免許や無届けで美容行為を行っているとの通報等があった場合は、美容所への立ち入り検査等を行い、指導に感じなければ警察との連携も想定している。今後も美容行為に関する届け出制度を周知するとともに、美容所開設の届け出時や定期監視時における免許確認に努めたい。

**部活動の地域移行**



三井暢秀  
(市民クラブ)

**質問** 部活動の今後について話し合う場が必要と考えるが、検討委員会を設置する考えは。

**答弁** 現在、既存の地域スポーツクラブや各種関係団体等と、地域移行における課題や地域で受け皿となり得る状況などについて情報を共有し、よりよい地域移行に向けた協議、検討を進めている。検討委員会の設置については、今後、学校部活動や地域クラブ活動に関わる関係機関と連携しながら研究していきたい。

**質問** 部活動の在り方について、本市の方向性は。

**答弁** 本市では部活動の資質、質的向上等を目的として、部活動指導員や外部指導協力者を派遣し、各校の実情に寄り添いながら生徒の安全確保等の環境づくりに努めている。こうした支援を引き続き行いながら、地域移行を進めていく上での課題解決に向け、検討を行っていきたい。

**本市の大規模災害への備え**



大河原吉明  
(新風会)

**質問** 大規模災害時における各種団体との連携状況は。

**答弁** 本市では160を超える団体と災害発生時における応援協定を締結している。具体的には、食料や飲料水の提供、衣類やトイレなどの生活必需品の提供、物資輸送や医療救護活動、ライフライン復旧など、さまざまな項目について協力体制を構築している。引き続き、災害時に備えた応援協定の締結を進めていく。

**質問** 避難行動要支援者名簿の作成と、その活用状況は。

**答弁** この名簿は要支援者への支援策の一つとして、災害対策基本法に基づき作成し、毎年更新しているもので、避難支援などに活用してもらうために町内会や消防、警察、民生委員などと共有している。今後も町内会や関係部局と連携しながら、要支援者の個別避難計画の作成が進められるように研究していく。

**住宅等の地震対策**



金子和幸  
(日本共産党)

**質問** 耐震シেলターの設置支援を緊急耐震対策事業のメニューに加えられるか。

**答弁** 令和3年度から木造住宅の耐震改修助成の補助率を引き上げたことで、住宅全体の耐震化工事は増加しているが、耐震シেলターの設置に関する相談等は受けていない。建築物の耐震化には住宅全体の耐震改修が有効だと考えており、シেলターの設置支援については、市民の要望や他市の状況などを注視し、研究していきたい。なお、シেলターの設置については、要件を満たせば住環境改善助成事業の対象になる場合もある。

**質問** アスベストは平成18年に使用が禁止されたが、建築物のどこの部位に使われている可能性があるのか。

**答弁** 一般住宅の場合、外壁のサイディングや屋根のスレート、石こうボード、壁紙等に使われている可能性がある。

**本市の肺炎など肺炎疾患の予防対策**



新保克佳  
(公明党)

**質問** 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の取り組みは。また、13価・15価の結合型ワクチン接種を助成する考えは。

**答弁** 本市では、国の進める定期接種に加えて独自の接種事業を実施しており、令和6年度からは対象年齢を引き下げて実施する。13価・15価の結合型ワクチンは、現在定期接種で使用しているワクチンとの併用による効果が示されており、接種への助成については、国等の動向を注視しながら研究したい。

**質問** COPD(慢性閉塞性肺疾患)の早期発見のための検診を実施する考えは。

**答弁** COPDは認知度の向上が課題であることから、禁煙チャレンジ教室など集団健康教育の場や、禁煙週間のラジオ放送等での周知活動を行っている。こうした活動をすすめる中で、検診の実施に向けた研究を進めていきたい。

**水道事業**



逆瀬川義久  
(公明党)

**質問** 本市における水道施設の耐震化の状況は。

**答弁** 若田浄水場の耐震化や基幹管路の複線化などを計画的に進めており、令和4年度末時点の耐震化率は、浄水施設が14・2%、配水池が54%、基幹管路が46・8%である。

**質問** 新年度予算に計上された給水車の配備計画は。

**また耐震性貯水槽の整備状況と災害時の飲料水の確保は。**  
**答弁** 新年度予算に計上した給水車は、既存の給水車のよくな集中配備ではなく、災害時の迅速な初動に備えた効率的な配置を検討している。また災害対策として整備している耐震性貯水槽は、音楽センターや小学校の敷地に計11カ所あり、毎年操作説明会を実施して防災意識の向上に努めている。災害時には、これらの耐震性貯水槽や浄水場等において、市民の10日間分の飲料水が確保できる。

**おとしよりぐるりんタクシーの新町ルート**



松本賢一  
(新風会)

**質問** 新町地域でおとしよりぐるりんタクシーを運行することとなった経緯は。

**答弁** これまで高齢化率や既存の公共交通の状況等に着目し、運行ルートを選定してきた。新町地域は高齢化率が高いことに加え、団地や住宅からバス停までが遠いこと、また地域からの要望等も勘案し、新規ルートに選定した。

**質問** 地域内のルート設定の考え方は。また、運行開始後の利便性向上への取り組みは。

**答弁** 運行ルートの設定に当たっては、地元区長等の意見を聞きながら、スーパードライバーや医療機関等を可能な限り回れるよう考慮している。また利便性向上のため、毎月地域のタクシー協議会との情報共有の場を設け、利用状況やトラブルの改善策等を共有し、利用者により寄った運行を実施するとともに、ドライバードライバーの意識向上にも努めている。